空衛ふくしま

発行所
一般社団法人福島県
空調衛生工事業協会
発行人　大　内　弘　之
〒960－8021
福島市霞町9－23
（福島管工事会館）
電話（024）526－2036

低炭素社会つくる

第41回通常総会開催

担い手確保、働き方改革、生産性向上

魅力ある建設産業実現

大内体制3期目始動

持続可能な社会のために尽力を誓った総会

大内会長

当協会は5月23日、福島市のウェディング・エルティで第41回通常総会を開いた。低炭素社会の実現を目指す社会的要請に対応。節電・省エネルギー、リニューアルの推進を通じ、持続可能な社会の形成に寄与するとともに、担い手の確保・定着を図るため、働き方改革への取り組みなどを柱とする今年度事業計画を決めた。任期満了に伴う役員改選では大内弘之会長と有賀行秀、古川敏博両副会を再任。大内体制3期目が始動した。

会員38人が出席した。

大内会長があいさつ。資材価格の高騰や製品納期の遅延等が企業経営に深刻な影響を及ぼす一方、これまでの取り組みによって直面する諸課題の改善が図られたとし、「引き続き、県当局や県議会に対して適正価格での受注、発注の平準化、公共工事における継続的な予算の確保、入札制度見直しなどの要望を行っていく」と強調。今年4月からの建設業への時間外労働上限規制適用などを踏まえ、長時間労働の是正や労働環境改善、生産性の向上等による魅力ある建設産業実現に向けて「関連団体と一丸で取り組む」と力を込めた。担い手の確保・定着のため「若い世代が将来に夢や希望を持ち、生き生きと活躍できる安全・安心で持続可能な社会づくりを進めなければならない」として協力を呼び掛けた。

来賓の渡邉佳文県土木部建築担当次長は「頻発・激甚化する自然災害に加え、物価高騰、急激な人口減少による担い手不足など、業界を取り巻く課題は依然多い」とした上で、「県民ニーズの多様化や社会情勢の変化に対応する。そのため住宅ストックの質と量の適正化、防災・減災対策、県有建築物のZEB化や木造・木質化を進めるとともに、建設業の生産性向上、働き方改革推進に努める」と祝辞を述べた。

前年度の事業報告、収支決算を承認。2024年度の事業計画を決めた。今年度は、設備工事業界の一層の地位向上を図り社会貢献に資するよう、専門業界としての誇りを持って「設備の重要性」「分離発注」をアピールするとともに、技術・技能力の向上、施工の責任、品質の保証等を通じて経営体質の強化を図っていくとした。

技術力で快適環境創造

空調衛生設備工事を通じて
地域の復興・創生に協力いたします。

会員一同

第22期役員体制決定

今総会では第22期役員体制を次の通り選任した（新任はゴシック表記）。任期2年。

【新役員】

▽顧問＝千葉隆（倉島設備）
▽常任相談役＝松原兼一（三共設備）
▽会長＝大内弘之（第一温調工業、県北支部長）
▽副会長＝有賀行秀（北関東空調工業、いわき支部長）古川敏博（光和設備工業所）
▽専務理事＝海川正美
▽会計理事＝髙橋良行（髙橋設備工業所）
▽理事＝倉島央樹（倉島設備）根本剛（エヌエス工業、県中・県南支部長）小板橋直史（小板橋工業所）**吉成進**（セコムエンジニアリング）坂本憲弘（大倉工業所）遠藤真隆（いわきエアコン）鹿目寿（会津ガス、会津支部長）柾屋和久（アクーズ会津）糸井和幸（糸井熱機、相双支部長）木幡安（コハタ）
▽監事＝野地幸司（野地工業所）深井信彦（太三機工福島営業所・員外）

■総務委員会（委員8人）

1 協会活動の基本方針の策定
2 財政方針の策定
3 組織運営方策の協議
4 定款及び諸規定の改正検討
5 会員の叙勲、表彰等の選考
6 機関紙発行に関する財源の確保
7 県立テクノアカデミーへの協力
8 会員の親睦事業の実施
9 ホームページ運用に関する事項
10 他の委員会に属さない事項
11 親睦ゴルフコンペに関する事項
12 インターンシップの推進

担当副会長	委員長
有賀　行秀	倉島　央樹

副委員長
小板橋直史

委　員	
髙橋　良行	（髙橋設備工業所）
倉島　央樹	（倉島設備）
大越　健一	（大越工業所）
小板橋直史	（小板橋工業所）
遠藤　真隆	（いわきエアコン）
蛭田　光俊	（山崎設備）
笠間　巳喜男	（ハッ橋設備）
糸井　和幸	（糸井熱機）

■広報委員会（委員5人）

1 機関紙を発行するための広報委員会の開催
2 建築設備業界の対外的啓発に関する事業の推進

担当副会長	委員長
有賀　行秀	山田顕一郎

委　員	
泉田　達夫	（文化設備工業）
山田顕一郎	（山田設備工業）
鈴木　忍	（クレハ設備）
成瀬　亨	（東邦工業）
伊藤　隆博	（伊藤冷機工業）

■経営委員会（委員5人）

1 会員の経営体質の強化を図るため経営改善研修会の開催
2 新分野への調査・研究
3 若手技術・技能者等の確保と育成のため、業界活動の啓発

担当副会長	委員長
古川　敏博	野地　幸司

副委員長
坂本　憲弘

委　員	
野地　幸司	（野地工業所）
芳賀　哲夫	（芳賀設備工業）
坂本　憲弘	（大倉工業所）
柾屋　和久	（アクーズ会津）
木幡　安	（コハタ）

■技術委員会（委員8人）

1 公共工事の適正施工を図るため、技術講習会や関係法令勉強会の開催
2 高度な設備技術を対象とした特別技術講習会の開催
3 新システム（新規受託可能な分野）の技術勉強会等の実施
4 工事検査評価と施工指導についての研修会の実施

担当副会長	委員長
古川　敏博	藤井　政弘

副委員長
小黒　敬三

委　員	
本多　修一朗	（第一温調工業）
伊藤　栄一	（東日本ユニットサービス）
渡邊　勝彦	（石田工業所）
大塚　淳史	（大塚設備）
藤井　政弘	（関彰エンジニアリング）
松原　兼宏	（三共設備）
齋藤　匡司	（興栄設備）
小黒　敬三	（小黒設備工業）

重点目標・スローガン

重点目標事業は①会員の収益性向上による経営安定②空調衛生等設備工事の技術力向上③関係行政機関並びに友好団体との連携強化④国・県等行政機関並びに議会に対する、地元業者活用と分離発注等（地産地消）の陳情、請願⑤若年技術者、技能者の確保と育成⑥労働安全衛生の向上を踏まえた環境整備⑦協会活動の広報宣伝⑧IT化社会への対応⑨社会貢献など⑩県立テクノアカデミーへの協力⑪会員の親睦⑫東日本大震災および原子力災害からの復興・創生支援の協力⑬社会保険加入推進―の13項目を設定。

実践スローガン「空調衛生設備工事業の重要性と役割をアピールしよう」「適正な価格での受注と直接発注（分離発注）運動を推進しよう」「地球環境保全、省エネルギーやリニューアルに積極的に取り組もう」「再生可能エネルギーを推進し、福島県の復興・創生に会員一丸となって取り組もう」を決議した。

人・街・未来へ
株式会社小泉東北
代表取締役　戸倉　厚
本　社　〒983-0035
宮城県仙台市宮城野区日の出町3-3-15
TEL022(352)4651㈹
郡山営業所　TEL024(952)1211㈹
会津営業所　TEL0242(32)9811㈹
石巻営業所　TEL0225(25)7445㈹
仙台南営業所　TEL022(797)7081㈹
福島営業所　TEL024(572)3699㈹
㈱小泉　〒167-8555　東京都杉並区荻窪4-30-16
TEL03(3393)2511㈹

空調・衛生・管工機材の総合商社
冨士機材株式会社
■郡山支店■
〒963-0725
郡山市田村町金屋字下夕川原167-4
TEL(024)941-3621
■いわき支店■
〒972-8316
いわき市常磐西郷町銭田107-15
TEL(0246)72-1571

TOTO
代理店
タカムラ
TAKAMURA
〒960-0180
福島市鎌田字卸町13番地の5
TEL(024)553-1464㈹
営業所
福島・郡山・いわき・会津・水戸
仙台・関東東・宇都宮・さいたま
アルテック・未来工房

水道資材総合商社
DAI SAN
太三機工株式会社
本社　〒104-0061
東京都中央区銀座1-19-15
TEL(03)3561-8761㈹
●福島営業所
福島市八木田字榎内23　TEL(024)546-3101
●いわき営業所
いわき市内郷御厩町1-162　TEL(0246)27-7589

SEDIA
SYSTEM
郡山　SC（024）945－2105
会津若松SC（0242）23－1122
いわき　SC（0246）24－2266
福島　SC（024）535－0201
白河　SC（0248）27－2911
渡辺パイプ株式会社
https://www.sedia-system.co.jp

技術と信頼で安全な環境づくり推進

通常総会　5年ぶり懇親会開催

祝辞を述べる佐藤委員長

第41回通常総会終了後、渡邉佳文県土木部建築担当次長、佐藤義憲県議会土木委員長、渡辺義信自由民主党県支部連合会副会長ら来賓と賛助会員を交えて懇親会を開いた。

初めに大内会長があいさつし、新型コロナウイルスの影響で5年ぶりとなった懇親会開催と、日ごろの協会活動への協力に謝意を示した上で「地球環境保全の一翼を担うものとして、省エネルギー技術や再生可能エネルギーを推進し、低炭素社会の実現に積極的に取り組む」と改めて決意を示し、「県建設産業団体連合会をはじめとした関係団体と連携を図りながら、業界の地位向上を目指して諸問題の解決に力を入れる」と述べた。

佐藤委員長は祝辞で「震災から13年、みなさんの絶え間ない努力と支援により、復興は着実に進んでいる。一方、今年1月の能登半島地震では、社会資本の重要性が改めて認識された」として「大規模な自然災害が相次ぐ本県でも、災害時の速やかなインフラ復旧に備えることが重要」と危機感を示し、生活基盤整備の重要性を強調。「優れた技術力と高い信頼性を兼ねるみなさんが、安全・安心に暮らせる環境づくりに一丸となり取り組んでいることは大変心強い。総会を新たな契機に、復興・創生に一層の尽力を願う」と呼び掛けた。

渡辺副会長の発声で乾杯し、来賓らと和やかに懇談した。

県総合設備協

県入札制度改正要点学ぶ

工期設定の考え方再確認

県総合設備協会（大槻博太会長）は6月5日、福島市の杉妻会館で県入札制度と県設備工事の働き方改革に関する研修会を開いた。

入札制度は総合評価方式の評価項目や現場代理人の常駐義務緩和対象工事、今年度新たに試験導入した一括審査方式など改正内容のポイントを学んだ。働き方改革に関しては、県の建築・設備工事における総合試運転調整期間確保や工期設定基準等について再確認した。

入札制度の改正ポイントなどを学んだ研修会

当協会と県電設業協会（大槻会長）から80人が受講した。大槻会長があいさつで、4月から建設業に適用された時間外労働時間の上限規制への対応について述べ「関係制度を理解することが問題解決の近道になる」と訴えた。

初めに須田秀明県総務部入札監理課主幹が今年度改正した県入札制度のポイントを解説した。総合評価は「除雪・維持補修業務の履行実績」を見直し、新たに中位点を設けて評価基準を3段階に改めた。建築、電気・暖冷房衛生設備工事を対象に加え、公共建築物の維持補修業務実績を評価するようにした。

現場代理人の常駐義務緩和は、対象を国等（JR、NEXCO、NTT等）発注工事まで拡大。一括審査方式は今年度、土木部発注工事（予定価格3000万円以上）で3件程度抽出して試験的に実施する。

横田尚也県土木部技術管理課主査は「県設備工事の働き方改革への対応」をテーマに、建築・設備工事における総合試運転調整期間確保や工期設定基準などについて説明した。

県は建築・設備工事で「概成工期」を特記仕様書で示しており、施工時には監督員の協力・調整の下、総合工程表に関連工事の全受注者が合意した概成工期を設定するよう求めている。横田主査は、発注時の工期設定は概成工期等を考慮しているが、受注者が工程表で設定した工期とズレがある場合は受発注者で協議するよう呼び掛けた。

工期変更

受発注者の意思疎通重要

県総合設備協会研修会　労災ゼロへ安全大会も

労災防止を誓い、技術向上を図った大会、研修会

皆川係長

遠藤検査員

横田主査

県総合設備協会は7月8日、郡山市のビッグパレットふくしまで今年度安全大会・技術研修会を開いた。現場担当者など147人が参加し、労働災害防止へ安全意識の高揚を図るとともに、県の工事検査上のポイントや工期設定の考え方などを学んだ。

当協会の古川敏弘技術委員会担当副会長が「現場の労働災害は多種多様化している。大会を契機に労災防止、安全意識定着を図ろう。新たな知識も取り入れ、技術向上につなげてほしい」とあいさつした。

技術研修会では、遠藤英典県出納局工事検査課主幹兼専門工事検査員が2023年度の工事検査実績と留意点等を解説した。工事成績平均点は84・3点で、前年度から1・1点上がっており、工種別でも設備工事は全体的に上昇している。

横田尚也県土木部技術管理課主査は、県の工期設定基準の考え方などを説明。工期変更について「受発注者間のコミュニケーションが大事。発注者としてワンデーレスポンスを心掛けている」と述べ、受注者側はいつまでに決裁が欲しいかなど、遠慮せずに相談して延福島労働局労働基準部健康安全課安全衛生係長が「建設業の労働災害防止」について講義。墜落・転落災害の高止まりを踏まえ、設備工事でも使うことが多い脚立作業の注意点などを紹介した。

大塚専務

当協会の大塚淳史大塚設備専務取締役が安全宣言し、今年度全国安全衛生週間スローガン「危険に気付くあなたの目　そして摘み取る危険の芽　みんなで築く職場の安全」を全員で唱和した。

安全大会では、皆川将司支部長が「設備団体で連携し、県への地元業者活用の陳情、分割発注、総合評価方式導入拡大の要望など、会員企業の業績向上に貢献できる活動をしたい」とあいさつした。

支部総会

【県北】福島市のウェディング・エルティで5月17日、第41期通常総会を開き、役員改選で大内弘之支部長を再選した。

会員21人が出席。大内支部長が「設備団体で連携し、県への地元業者活用の陳情、分割発注、総合評価方式導入拡大の要望など、会員企業の業績向上に貢献できる活動をしたい」とあいさつした。

①建設設備工事の直接発注（分離発注）の陳情②技術力向上と経営体質の強化③友好団体との連携強化④リニューアルへの積極的な対応⑤会員相互の連携と親睦⑥震災復興・創生支援協力⑦地域ボランティア活動の実施－などの今年度事業計画を決めた。

【県中・県南】郡山市の郡山市管工事協同組合会館で5月17日、第41回通常総会を開き、役員改選で根本剛支部長を再選した。

会員8人が出席。根本支部長が「昨年、新型コロナの5類移行後に考えていた懇親活動の活性化は諸事情により実現できなかったが、意見や情報の交換など、協会入会のメリットを生み出す活動を展開したい」とあいさつした。

県中建設事務所、県電設業協会との意見交換会などの前年度事業を確認。①県中・県南建設事務所との懇談会の開催②電設業協会各支部、設備設計事務所協会県中・県南支部との交流・意見交換会の開催③3支部（県北、会津、浜）交流会の実施④県南支部市町村の分離発注と地元業者発注の要望⑤新規会員の入会促進⑥災害復旧協定に基づく支援⑦各種講習会の開催－などの今年度事業計画を決めた。

【いわき】いわき市平のいわきワシントンホテル椿山荘で5月17日、第41回通常総会を開き、役員改選で有賀行秀支部長を再選した。

会員ら約10人が出席。有賀支部長が「各社が抱える残業問題や休日確保など働き方改革に関する課題について、解決に向けて情報交換を図るとともに、支部活動を盛り上げたい」とあいさつした。

今年度事業計画は①各種災害発生時の復旧・復興事業への積極参加②関係機関・団体との連携強化③行政機関、議会に対する陳情・請願④支部活動活性化事業（例会、技術研修会、親睦会）⑤行政機関との技術懇談会⑥空調衛生等設備工事の技術力向上など。

【会津】会津若松市の田事で5月15日、2024年度通常総会を開いた。役員改選で鹿目寿支部長を再選し、働き方改革や社会情勢の変化への対応に取り組むことを確認した。

会員ら11人が出席。鹿目支部長が「4月には会津管工事協同組合に協力し、1月に起きた能登半島地震の被災地に飲料水を送り届けた。今後もさまざまな地域貢献活動を実施していきたい」とあいさつ。「業界には課題が山積しているが、支部が発展できるよう強い団結力を示していこう」と呼び掛けた。

今年度事業計画は①発注機関への要望・啓発活動や県議会議員との意見交換②会津若松・喜多方・南会津建設事務所や会津大学との意見交換③積算制度の内容把握に向けた勉強会など。

【相双】福島市の祭屋湯左衛門で4月16日、2024年度総会を開き、役員改選で糸井和幸支部長を再選した。

事業計画に①本部事業への積極的な参加②例会の開催③会員拡大④技術者・作業員の確保⑤新型コロナウイルス感染防止対策－などを挙げた。相双地区の復興創生と社会貢献のため経営体質改善と強化を目標に活動する。

時間外労働

設備工事の課題共有

東北地整と意見交換　「概成工期」運用状況も

東北地方整備局営繕部と当協会、県電設業協会の今年度意見交換会＝写真＝は4月25日、福島市の県電設会館で開いた。今年4月に適用された建設業における時間外労働の上限規制に対する両協会の取り組み、課題などについて情報共有。営繕部における「概成工期」の運用状況について確認した。

当協会から大内弘之会長、有賀行秀、古川敏博両副会長、柾屋和久理事、海川正美専務理事、県電設協から大槻博太会長、永井博、丹野勇治両副会長、車田昭、渡部昌彦、佐藤春幸各理事、野内忠宏専務理事ら、同部から斉藤隆一設備技術対策官、工藤浩幸保全指導・監督室長、堀正之、加藤政昭両整備課長補佐が出席した。

斉藤対策官が「4年ぶりの対面開催。現状や課題を共有し、円滑な事業実施につなげたい」、大内会長は「時間外労働の上限規制は業界にとって大きな課題だが、チャンスと捉え、改革につなげたい」とあいさつした。

東北地整は、今年度からの発注者指定型（本官契約案件）、受注者希望型（分任官案件）による「月単位」の週休2日確保推進など働き方改革への取り組みを紹介。両協会は特記仕様書で定める「概成工期」について、総合試運転調整期間が十分に確保されていない場合がある現状を訴え、設定の基準や考え方を尋ねた。東北地整は規模や用途など、実態に合わせて運用しているとした上で、中規模程度の建物はおおよそ3週間～1カ月、多くの設備導入が見込まれる研究施設等は2～3カ月程度みていると回答。引き続き、適切な設定に努めるとした。

このほか両協会は週休2日制の課題として、発注者や元請に左右されるケースが多い点を指摘。恒常的な人手不足もあり、全体工程の遅れが生じた場合、時間外労働の代休確保に苦慮している現状などを報告した。

県総合設備協

設計内容整合でチェックの場提案

県土木部に課題対応要望

県土木部と県総合設備協会は1月18日、福島市の杉妻会館で2023年度意見交換会を開いた。

業界の現状と課題について話し合った意見交換会

22年度に続く2回目の開催。当協会など構成3団体で整理した設備工事の「設計から施工に至る課題」について、県に対応を要望した。時間外労働の上限規制適用を踏まえた働き方改革などについても話し合い、県内設備業界の現状と課題について認識を共有した。

県から土木部の青木隆直企画技術担当次長、渡邉佳文建築担当次長、中村一彦技術管理課長、星丈男建設産業室長、佐瀬守昭営繕課長らと加藤英和総務部入札監理課長、総合設備協会から大槻博太会長、副会長の大内弘之当協会長、小柳浩県設備設計事務所協会長、3団体の副会長、理事が出席した。

青木次長が「担い手の確保・育成や時間外労働の上限規制への対応に向け、業界と連携して業務の効率化等を図り、活力ある産業として持続できる環境づくりに取り組む」とあいさつした。

総合設備協会が3テーマ16項目の意見・要望を行い、県が回答する形で意見を交わした。

設計～施工の課題には①建築・電気・機械の図面不整合等②既存建築物や設備機器系統の調査不足等③設計書の積算漏れ等④予算段階の課題⑤その他（設備設計事務所協会要望）を挙げた。

このうち改善策として、図面不整合では発注者主導による設計内容（3工種）の整合をチェックする場の設置などを要望。調査不足については、当初・変更設計や施工など各段階で必要となる調査の適切な費用計上を要請したほか、県有施設の既存設計・施工データを保存するルールづくりを提案した。

調整期間確保確実に　指名入札運用拡大も

働き方改革関係では、建築と電気・機械設備が同じ工期で発注される工事で、建築工事等の遅れや工事全体工程の調整不足などを要因に、設備工事の作業期間が確保できないケースがあると指摘。2024年問題を踏まえ、適切な工期設定とともに、特記仕様書に規定されている設備工事の総合試運転調整期間が確実に確保できるよう、県監督員による着実な工程管理等と建設関係団体への周知を求めた。

入札制度に関しては、地域の守り手育成型方式（指名競争）を土木・農林水産以外の部局で運用するよう要望。維持管理を担う企業等へのインセンティブを導入した入札方式の検討などを訴えた。

休憩室

南会津での1年～四季を振り返って～

県南会津建設事務所　建築住宅部長　小野　裕樹

南会津建設事務所建築住宅部長の小野です。協会員の皆様には、日頃、本県の営繕行政の推進に御協力をいただき感謝申し上げます。ありがとうございます。

私は昨年4月に南会津建設事務所に着任し、はやいもので1年以上が過ぎました。はじめての「南会津（雪国）暮らし」、十数年ぶりの「一人暮らし（単身赴任）」に期待と不安を抱きながら南会津町での生活を始めたのですが、1年間のなかでいろいろな発見・経験があり、それらを南会津の四季と照らして少しお話しさせていただこうと思います。

南会津で生活を始めて感じたことは、「山が近く大きい」、「夜がすごく静か（鳥獣の鳴き声が響き渡る）で星がきれい」などなど…、自然がすごく近くにある感じです。

春。山々の緑がとても鮮やかに見え、晴れの日は特にすがすがしく感じます。

5月に前沢曲家集落を訪ねました。集落内には13棟の中門造（曲家）の伝統的家屋があり、今もそこで生活する人たちがいます（畑仕事をしている方を見かけました）。ここの曲屋の特色は、中門（曲屋の玄関部）のところで農耕馬が飼われていたことで、これは馬を家族同様に大切にしていたからなのだそうです。語り部の方からは、曲家での生活をいろいろ聞くことができましたが、「田植えは藤の花が咲いてから」という生活と自然の関わりなども教えてもらいました。（今年、藤の花を見てふと思い出しました。）

6月に近づくとヒグラシのようなセミの声が聞こえてきます。この時期にセミの声を聞いたことがあまりなく、また、ヒグラシは秋に近づく頃に鳴くセミのはず。「何だろう」とネットで調べてみたら「エゾハルゼミ」のようです。セミの姿は見ていませんが、九州から北海道に分布し、標高の高い山地に生息しているとのことなので、おそらくそうだと思われます…。

夏。昨年の南会津の夏は、やはり例年になく暑さだったそうです。

7月末に「会津田島祇園祭」が開催されます。私は残念ながら見ることができませんでしたが、昨年は4年ぶりの通常開催で大変賑わったようです。職場では「でしゃばり隊」の皆さんが、七行器行列での運行整理など裏方としてお手伝いされました。このお祭りは京都祇園、中の津島（愛知）と並ぶ日本三大祇園祭の一つに数えられており、開催のずいぶん前から町中の至る所にポスターが貼り出され、地元のみなさんにとっても特別な日なのだと感じました。

秋。昨年の秋はとても短く、あっという間に過ぎてしまいました。

仕事の関係（木道整備の検査）で、ですが、10月に会津駒ヶ岳、燧ヶ岳、三条の滝に行きました。まもなく山小屋が閉められるという時期で、道中（片道1：5～2・5時間）、紅葉狩り気分を少し味わえたものの、登山経験がほとんどない私には超ハードな山登りとなりました。なかでも印象に残ったのは、（山頂まで行っていませんが）燧ヶ岳です。御池登山口からしばらく行くと、いきなり岩がゴロゴロした急勾配の沢筋を登ることに…。しかも雨が降った後で足下は悪く、登り始めて15分もすると完全に息が切れ、足は乳酸がたまってパンパンになり、心は折れかけ、その後途中何度も休憩して、なんとか1時間30分ほどで目的地にたどり着くことができました。また、下るときは、滑りそうな岩にふらつく足を置くことの恐怖との戦いで、「もしズルッといったら相当下まで転げ落ち、そのときは命の保証はないな」なんて思いながら歩き続け、登山口に戻ってきたときは、もうぐったりでした。一方、同行してもらった地元業者のお二人は「いい汗かいたぁ」くらいの感じで平然としていて、ちょっと憧れを感じました。

冬。昨年は11月末に初雪が降り、近くの山々が白くなってとてもきれいでした。

南会津町は気温がとても低く、断熱性があまりない私のアパートの台所などは暖房していないので極寒です。部屋着にジャンパーを羽織らないと寒さに耐えられません。豪雪地・南会津の冬の生活はとても不安でしたが、昨年は暖冬の影響であまり雪が降らず助かりました。それでも、1日で1㍍くらいとか、一晩で30～40㌢とか降った日があり、雪国らしさを感じました。何度か早朝にアパートの駐車場の雪かきをしましたが、雪質がすごくサラサラしていて感動しました。

…あらためて振り返ってみると、南会津の四季はとても豊かだと思います。インドア派の私は、山登りやスキーなどはやりませんが、日常の風景からでも、それを感じます。普段あまり写真を撮ることがないのに、ふと「いいなあ」と感じた景色をスマホで撮りしています。一人暮らしは気楽な反面、やはりさみしさもあり、静寂の夜に「ぼっち」と感じるときもときどきありますが、自然の四季を感じながら生活する趣を私なりに楽しめています。

最後に、管内の町村について簡単に紹介させていただきます。

南会津町のまちなかには、週末開放される屋台小屋や歴史的な石造りの建物があります。3月に開通した下郷町の小沼崎バイパスには、阿賀川に架かる全長約350㍍の下郷大橋があります。只見町のマトンは、羊肉が苦手な方でもおいしく食べられると思います。檜枝岐村の温泉は地元の方もおすすめです。

皆様、是非、南会津を訪れて、いろいろ体感してみてください。

興栄設備が晴れの受賞

会津若松市優良工事

会津若松市の2024年度優良建設工事を、当協会会員の興栄設備が施工した城前団地更新住宅第4棟給排水衛生設備工事（齋藤純一現場代理人）が受賞した。

昨年度竣工した請負金額500万円以上の工事121件のうち、工事成績評定80点以上の11件から5部門5工事が選ばれた。

7月9日、同市の會津稽古堂で表彰式＝**写真**＝が行われ、室井市長が「社会情勢等の変化や気候変動の影響により、多種多様な対応が必要な中でも速やかに施工していただいた。市民生活の向上に向け、今後も協力を願いたい」と受賞各社をたたえ、代表者らに表彰状と記念の盾を手渡した。

柾屋氏が建産連会長表彰を受賞

協会事業発展に貢献

建設産業の社会的地位向上等に功績のあった県建設産業団体連合会（建産連）会員団体の役員として、当協会から理事の柾屋和久氏（アクーズ会津）が会長表彰（団体会員の部）を受賞した。

建産連会長表彰を受賞した柾屋氏

6月14日に福島市のウエディングエルティで開かれた建産連の第40回通常総会の席上、授与された。

柾屋氏はこれまで、広報委員、経営委員長を歴任。協会活動の対外的広報や会員企業経営安定化の取り組みを進めてきたほか、2016年からは会津支部選出の理事として当協会の事業発展に貢献している。

笑顔忘れず、明るい接客

花籠

八ッ橋設備㈱　大竹順子さん

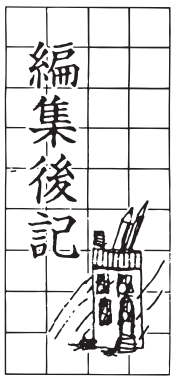
6年前の2月に八ッ橋設備㈱に入社しました。ちょうどその時期は凍結修理で大忙しでした。私の実家も凍結し、「水道屋が凍結させちゃってる！」と笑われる始末でしたが、今思い返すと懐かしい思い出です。

当時は業界未経験で右も左もわからず、表情も声も硬かったです。数カ月後には電話対応の業務も任されるようになりましたが、最初は全てが呪文のように聞こえました。今でもたまにそう感じることがありますが（笑）、困った時はいつも社内の誰かが親身になって助けてくれるので、とても心強いです。職場の皆様のおかげで、笑顔を忘れず、明るく接客ができるようになりました。

最近はホームページのブログを書くことも始めました。現場に出向いて工事の進捗や、完成した場所を見学する機会が増え、優しい先輩方が忙しい中でも、時間を割いて丁寧に教えてくれます。初めて足場に登ったり、地下ピットに入ったりしましたが、今まで見たことのない設備の景色が広がっていました。知識が少ない故、「すごい！」の一言しかでてこないのですが、今後はもっと勉強して、見学してきたことをわかりやすく、そして現場の皆様の熱い想いをブログで伝えられたらと思います。

初体験は仕事のことだけでなく、大きな鍋で芋煮を作ったり、お客様からいただいたわらびのあく抜きをしてみたりと、思ってもいなかったイベントがたくさんあり、毎日楽しく仕事をしています。いくつになっても新しいことを学ぶことや経験することは楽しく、わくわくします。これからも感謝の気持ちを忘れず、お客様や職場の皆様のお役に立てるよう、さらに頑張りたいと思います。

編集後記



広報委員　鈴木　忍

昨日、古い友人と話題となった件で家づくりの時その歴史は、判っているにだけで飛鳥時代に遡るよく聞くフレーズに「地鎮祭」がある。「じちんさい」と読むほか「とこしづめのまつり」と読むこともある。工事の安全と無事完成をお祈りする儀式で、「鎮」という漢字が「しずめる」「落ち着かせる」という意味を持つ通り、これから工事を始めることを土地の神様に承諾してもらう意味も持つといわれていてとても言わない限り、「配慮して当たり前」と思われている可能性が高い。

「古井戸は勝手に埋めるな」の格言は、施工業者が陥る施主や地域とのコミュニケーション不足を戒めるものだ。そのほか塚、祠、無縁墓などは、地域独特の文化の中で何かしらの重要な役割を担っている可能性があるため、十分に注意して取り扱うべきである。

施工現場にこうしたものがあるときは、「地域の古老や代表者と話して了承を得る」、「必要があれば地域の習わしにのっとり供養などを行う」という丁寧な手順を踏んで対応したい。

施工業者というものは施工以外の振る舞いも厳しく見られている。ご高齢の方が多い地域では、そういう部分で会社のレベルがすぐに知られてしまうところである。

格言や言い伝えとして残っているもの、生活の中に根付いているもの、その現れ方はさまざまだが、施工業は土地とそこに住む人たちと深く関わる業界だ。「自分は迷信を気にしない」と軽視せず、「文化」として理解し、最大限の配慮を忘れないように心に留めておきたい。

空衛協のうごき

【4月】

▽4日　新年度挨拶回り（大内会長、海川専務）県庁
▽10日　東北空調衛生工事業協会2023年度第9回理事会（大内会長）宮城県管工事会館
▽18日　伊藤隆之税理士による決算監査指導（海川専務、根本事務員）協会事務所
▽18日　2024年度県立テクノアカデミー会津入学式（会津支部）テクノアカデミー会津体育館
▽22日　2023年度決算監査会（監事、会長、会計理事、事務局）協会会議室
▽22日　2024年度第1回役員会・理事会（大内会長、ほか役員）協会会議室
▽25日　東北地方整備局との意見交換会（正副会長、支部長ほか）県電設業協会会議室

【5月】

▽13日　NPO循環社会推進センター2024年度第1回役員会（大内会長）県建設センター
▽14日　県建設産業団体連合会第47回理事会（大内会長）県建設センター
▽23日　2024年度正会員（会長）ウェディングエルティ
▽23日　県空調衛生工事業協会第41回通常総会（会員）ウェディングエルティ
▽23日　2024年度第2回役員会・理事会（新役員）ウェディングエルティ
▽24日　県建設業協会第12回定時社員総会（有賀副会長）ウェディングエルティ
▽27日　第40回県建築文化賞合同会議（海川専務）県庁
▽27日　県フロン回収事業協会第20回通常総会（海川専務）ホテル福島グリーンパレス
▽28日　県電設業協会第74回通常総会懇親会（大内会長）ウェディングエルティ
▽30日　県建築設計協同組合第59回通常総会懇親会（大内会長）ウェディングエルティ
▽31日　NPO循環型社会推進センター第22回通常総会（大内会長）県建設センター
▽31日　県建築士事務所協会第12回定時総会懇親会（大内会長）ホテル福島グリーンパレス

【6月】

▽5日　2024年度入札制度研修会（会員）杉妻会館
▽7日　県設備設計事務所協会第44回総会懇親会（有賀副会長）ウェディングエルティ
▽10日　2024年度第1回技術委員会（担当副会長、委員）協会会議室
▽12日　2024年度第1回広報委員会（担当副会長、委員）協会会議室
▽13日　2024年度第1回経営委員会（担当副会長、委員）協会会議室
▽13日　2024年度第1回総務委員会（担当副会長、委員）協会会議室
▽14日　県建設産業団体連合会第40回通常総会（有賀副会長、海川専務）ウェディングエルティ
▽14日　県建築士会第74回通常総会懇親会（海川専務）ウェディングエルティ
▽21日　県建設産業団体連合会2024年度第1回参与会（海川専務）県建設センター

【7月】

▽1日　ふくしま地区管友会第58期定時総会懇親会（海川専務）ウェディングエルティ
▽5日　2024年度第3回役員会・理事会（大内会長、ほか役員）ホテル福島グリーンパレス
▽8日　2024年度県総合設備協会安全大会・技術研修会（会員、担当副会長、技術委員）ビッグパレットふくしま

テクアカ会津入学生募集

喜多方市にある県立テクノアカデミー会津の電気配管設備科は、建築設備（電気設備技術、給排水設備技術、冷凍空調技術）について2年間の総合的な教育訓練を行っており、若手技術者の人材育成に努めています。

2025年度生の入学試験日程は、推薦入学試験（学校推薦型選抜）が10月4日（出願期間は9月17日から9月27日）、推薦入学試験（総合型選抜）が11月6日（出願期間は10月21日から10月29日）、一般入学試験は12月13日（出願期間は11月27日から12月6日）です。なお、推薦入学試験（総合型選抜）から社会人の出願が可能です。詳細は本校までお問い合わせください。県立テクノアカデミー会津（入試担当）☎0241（27）3221。ホームページアドレス　https://www.tc-aizu.ac.jp/

福島県ダクト工事業協同組合
理事長　遠藤　和伸
〒960-2262
福島市在庭坂字栃清水32-1
TEL024(591)4611
組合員
㈲移川鋼板工業所
㈱HGI
㈱協栄工業
㈲共立空調工業
共和工業㈱
㈱協和サーモテック
㈲佐戸川ダクト鈑金工業所
㈲伸和
㈲タンノコーポレーション
㈱渡辺ダクト工業

TS 空調管工機材取扱商社
高田産商株式会社
代表取締役社長　沼田重一
白河営業本部
〒961-0831　白河市老久保126－1
TEL:0248-27-8800(代)
FAX:0248-27-3697
本社・工場
〒963-6131　東白川郡棚倉町棚倉字中居野96－1
TEL:0247-33-3101(代)
FAX:0247-33-2142
いわき営業所
〒973-8402　いわき市内郷御厩町3－68
TEL:0246-38-8831(代)
FAX:0246-38-8832
郡山営業所
〒963-8863　郡山市菜根屋敷60-12
TEL:024-973-6394(代)
FAX:024-973-6392